

正誤表（達成状況評価）

21：千葉大学

No.	現況分析単位 (学部・研究科等)	頁数	誤	正	修正事由
01		p.26	2019年度は908名と一定数を維持。	2019年度は <u>COVID-19 感染拡大の影響もあり、725名となった。</u>	別添資料 21-k5-1 の提出に伴い数値に齟齬が生じたため。
02		p.31	2019年度は908名と一定数を維持。	2019年度は <u>COVID-19 感染拡大の影響もあり、725名となった。</u>	別添資料 21-k5-1 の提出に伴い数値に齟齬が生じたため。
03		p.61	2019年度は908名と一定数を維持。	2019年度は <u>COVID-19 感染拡大の影響もあり、725名となった。</u>	別添資料 21-k5-1 の提出に伴い数値に齟齬が生じたため。
04		p.65	2019年度は908名と一定数を維持。	2019年度は <u>COVID-19 感染拡大の影響もあり、725名となった。</u>	別添資料 21-k5-1 の提出に伴い数値に齟齬が生じたため。
05		p.109	2019年度は908名と一定数を維持。	2019年度は <u>COVID-19 感染拡大の影響もあり、725名となった。</u>	別添資料 21-k5-1 の提出に伴い数値に齟齬が生じたため。
06		p.117	2019年度は908名と一定数を維持。	2019年度は <u>COVID-19 感染拡大の影響もあり、725名となった。</u>	別添資料 21-k5-1 の提出に伴い数値に齟齬が生じたため。
07		p.10	2020年3月までに79人が卒業。研究分野では、大学教員（東大1人、千葉大1人、筑波大1人、インディアナ大1人）、大学の博士研究員（3人）、公的研究機関研究員（1人）、民間研究機関研究員（4人）が最先端の研究分野で活躍。また、多様な民間企業（41人）や官	2020年3月までに79人が卒業。研究分野では、大学教員（東大1人、筑波大1人、インディアナ大1人、 <u>大阪大1人、京都大1人</u> ）、大学等の博士研究員（ <u>2</u> 人）、公的研究機関研究員（1人）、民間研究機関研究員（4人）が最先端の研究分野で活躍。また、多様な民間企業	人数に誤りがあったため。

正誤表（達成状況評価）

			公庁等（6人）への就職、ベンチャービジネスを起業するなど、さまざまな職種で活躍。	（44人）や官公庁等（7人）への就職、ベンチャービジネスを起業するなど、さまざまな職種で活躍。	
08		p.10	2018年5月に「千葉大学先進科学センター創立20周年記念シンポジウム」を開催し、飛び入学生募集開始から20年間の成果について報告。	2018年6月に「千葉大学先進科学センター創立20周年記念シンポジウム」を開催し、飛び入学生募集開始から20年間の成果について報告。	開催月に誤りがあったため。
09		p.43	さらに次世代スキップアップ・プログラム（AP）を2015年度から実施、	さらに次世代スキップアップ・プログラム（AP）を2014年度から実施、	年度に誤りがあったため。
10		p.48	さらに次世代スキップアップ・プログラム（中期計画1-4-1-3で後述）を2015年度から実施、	さらに次世代スキップアップ・プログラム（中期計画1-4-1-3で後述）を2014年度から実施、	年度に誤りがあったため。
11		p.43	今後は、スマートラーニング（ICTを活用した双方向個別学修システム）を活用して数理・データサイエンス科目を提供、アクティブ・ラーニング化を実現し、「千葉大学モデル」を構築。	今後は、スマートラーニング（ICTを活用した多方向個別学修システム）を活用して数理・データサイエンス科目を提供、アクティブ・ラーニング化を実現し、「千葉大学モデル」を構築。	誤字があったため。
12		p.45	ICTを活用して、時間や場所にとらわれずに授業を受講することが可能となるスマートラーニング（ICTを活用した双方向個別学修	ICTを活用して、時間や場所にとらわれずに授業を受講することが可能となるスマートラーニング（ICTを活用した多方向個別学修	誤字があったため。

正誤表（達成状況評価）

			システム)の実施に向け、基本方針案を策定	システム)の実施に向け、基本方針案を策定	
13		p.48	<p>今後は、スマートラーニング（ICTを活用した双方向個別学修システム）を活用して数理・データサイエンス科目を提供、アクティブ・ラーニング化を実現し、「千葉大学モデル」を構築。</p>	<p>今後は、スマートラーニング（ICTを活用した多方向個別学修システム）を活用して数理・データサイエンス科目を提供、アクティブ・ラーニング化を実現し、「千葉大学モデル」を構築。</p>	誤字があったため。
14		p.51	<p>○2020年度、2021年度の実施予定（中期計画1-1-4-1） (A) スマートラーニング（ICTを活用した双方向個別学修システム）の推進</p>	<p>○2020年度、2021年度の実施予定（中期計画1-1-4-1） (A) スマートラーニング（ICTを活用した多方向個別学修システム）の推進</p>	誤字があったため。
15		p.55	<p>・スマートラーニング（ICTを活用した双方向個別学修システム）の一環としてメディアを高度に利用して行う授業（略称：メディア授業）の実施を可能にするため、Moodleと連携して動画を配信できるシステム（HLS動画配信システム）を整備。</p>	<p>・スマートラーニング（ICTを活用した多方向個別学修システム）の一環としてメディアを高度に利用して行う授業（略称：メディア授業）の実施を可能にするため、Moodleと連携して動画を配信できるシステム（HLS動画配信システム）を整備。</p>	誤字があったため。